

びざん



JA NEWS 2021 NO.628

表紙写真は、佐那河内支所露地すだち部会森下嘉文部会長。撮影時の7月末は、8月初旬から始まる出荷に向け、炎天下の中、摘果作業を行っています。すだち統一部会部会長も務める森下部会長、猛暑の中の作業でも、素敵な笑顔です。今年度、同部会では生産者260戸で約60畝を栽培しています。出荷計画は市場出荷量200ト、加工向け450ト、販売金額1億5千万円（数量前年比129割）を見込んでおり、期待が高まります。今年産の品質は色が濃く、香り豊かで上々です。

「コロナ禍で関東、関西方面の飲食店等の需要は減少傾向ですが、森下部会長は「是非、見かけたら、ご賞味いただきたい。旬の味わいをご家庭で手軽に取り入れてもらえたら。」と話されました。

出荷は9月末までを予定しており、安心・安全で高品質なすだちの出荷ができるよう、生産者一丸となり、栽培管理や適期収穫に努めます。

甘長唐辛子 出荷順調

果樹選果場では、甘長唐辛子の出荷が順調です。今年度の出荷は6月初旬から10月頃までの予定です。生産者15戸で総出荷量6ト、目標販売金額は400万円を計画しています。

佐那河内産の甘長唐辛子は約20年の歴史があり、関西市場での需要が高く、評価されています。高齢の生産者が多いですが、軽量で栽培もしやすく、新規就農者も取り組みやすい品目です。

鮮やかで目を引く緑色をしており、「甘長グリーン」の名称で出荷されています。

J A職員は「高齢化に伴い、生産者と面積が減少しているが、スーパーや消費者からの根強い人気に因應するため、安定出荷できるように努力していきたい。」と話しました。

（写真は甘長唐辛子の集荷を行う果樹選果場 中川職員）



オクラ部会 目慣らし会



南部地区オクラ部会は、7月16日に中央集出荷場で生産者を対象にオクラの目慣らし会を開催し、品質安定に向けた袋詰めの方法などについての確認と周知を行いました。今年も、目慣らし会では、マスクの着用や3密を避け、コロナウイルス感染対策が徹底されました。

今年度は生産者約40戸で、総出荷量33.8ト、販売金額は3,460万円を目指します。

同部会では、オクラの品質を保つため、袋詰めにした後、通気性の良い専用の「オクラ籠」で出荷されます。

出荷は10月下旬まで続く予定です。

多家良支所オクラ部会坂尾正恵部会長は「今年は、梅雨入りが早かったため根腐れなどの被害が懸念されたが、雨が1日中降り続くことは少なく、今は順調。今後も管理を徹底し品質を維持していきたい。」と話されました。

（写真は目慣らし会の様子 右側手前が多家良支所オクラ部会坂尾部会長）

令和3年産 甘藷 出荷開始

東部管農経済センターでは、7月5日より令和3年産甘藷の出荷が始まりました。同センター甘藷部会では、今年度、生産者132戸が140畝を栽培しています。

今年度は、例年より梅雨入りが早く曇天が続きましたが、掘取った甘藷の品質は上々とのこと。今年産は、特に色が非常に良く、鮮やかで艶のあるものが出荷されています。

販売担当者佐藤徹也職員は、「貯蔵甘藷に比べ皮が薄く調理するのにすくく向いている。コロナ禍で外食ができないので色んな料理で自慢の甘藷を食べていただきたい。」と話しています。

出荷は7月9月末まで続き、10月からは貯蔵甘藷に切り替わります。総出荷量65万ケース（1ケース5ギ）、目標販売金額は9.1億円を計画しています。

（写真は集荷した甘藷の検査を行う職員）



7/1~ エディ号で「あわっちゃまめ」をPR



北部営農経済センターは、制作施工会社を通じ、徳島バス株式会社の「エディ号」の高速バスに「あわっちゃまめ」の広告ラッピングを依頼しました。6月中旬より公開され、主に大阪線高速バス1台の車体後部にラッピングされています。このバスの運行は期間限定で、8月中旬までの予定です。



※マスクの着用の無い写真が含まれますが、高温、多湿の環境下でのマスクの着用は、熱中症のリスクが高くなることから、屋外において十分な距離が確保できる場合にマスクを外しております。



花卉部会の菊生産者は7月28日に圃場巡回を行い、今後の出荷に向けて、栽培管理などの確認をしました。現在、主に栽培されている品種は「精州」（せいしゅう）「精菱」（せいびし）「精の一世」（せいのいっせい）など。長梅雨の影響により、全国的に前倒し出荷となりました。梅雨明けからの猛暑により開花遅延も多々見られますが、お盆の需要に応えることが課題です。（7月28日取材時点）

お盆の需要に向け 菊 圃場巡回 7/28

JA職員からは、高温障害の対策として灌水をしっかりと行い、消毒作業を重点的に行うように注意喚起がありました。今年の出荷は8月3日からの予定です。

生産者の麻植孝浩さんは「お盆需要に応え、市場の信頼を得たい。コロナ禍において花卉生産者には厳しい時代になっているが、高需要の時期に確実に出荷し、期待に応え続けることが我々生産者の責任の一端です。」と話されました。

（◀写真は圃場巡回で調整前の菊の状態を確認する生産者）

7/29 ドローンで水稲防除受託作業



北部営農経済センターは、7月28日から8月中旬にドローンによる水稲防除の受託作業を株式会社三協商事の作業協力のもと行いました。

折込みチラシ等で募集を行い、今年度、北井上支所では、35件で約27%。南井上支所では18件で、約10・6%の作業の委託がありました。ウンカ、カメムシ等の対策として、株式会社三協商事のオペレーターが手動操縦するドローン（機種：MG-1P）により、スタークルメイト液剤の散布をしました。

農業用ドローンの農薬散布は、技術や免許の取得が必須ですが、オペレーターが、圃場の特徴に合わせ操縦し、天候や散布の向きを考慮し、散布にムラが出ないように、高さやスピードの調整も行います。

実際に昨年もこの受託作業によって省力化ができたこと他、大きな成果として、出荷された玄米は比較的、品質が高い傾向だったそうです。

年々、口コミ等により、委託する生産者も増えており、今後、登録農薬が増え、他の作物での受託可能な作業の幅が広がることにより、肥料・農薬の散布作業の省力化・効率化を期待しています。南井上支所 山田真也営農指導兼経済渉外員は、「農家の高齢化が進んでいる中、当該作業は

かなりの負担になってきており、作付面積減少や離農の一因になっている。加えて、大口農家の面積拡大についても同様の理由で一助になるのではないかと期待している。今後も情報を共有し、たくさんの方に作業の利便性を広めたい。」と話しました。

（▲写真は⑤南井上支所 山田真也営農指導兼経済渉外員と⑥株式会社三協商事のオペレーター池田さん）



7/19 直売所なっとく市場「なっとくの日」



直売所なっとく市場は、7月19日を「なっとくの日」と銘打ち、特価セールを行いました。現在、店頭では色とりどりの夏野菜が揃っており、また、この時期はお惣菜の売れ行きも良く、さっぱりと味わえるお寿司、特に魚（アジなど）の姿寿司、お好み焼きなども人気です。

また、7月末で前年産の玄米の販売が終了し、新米が出る8月下旬までの、約1ヵ月間は在庫が無いため、定期的に購入される方には多めの購入を勧めました。

（▶写真は中村朋生店長）



高収益次期作支援交付金第4次公募 説明会

各センター、支所において、7月12日～16日の4日間、当JAの職員、農林水産課、中国四国農政局、NOSAI徳島の各担当者により、高収益次期作支援交付金申請対象者に対し、第4次公募の説明会を行いました。

当JA管内では、あらかじめ申請が可能な対象者167名に対して再生協議会より、個人ごとの判定表や、説明会の日時、場所を記載した案内文書を郵送し、参加いただきました。4ヶ所（4会場）の地区別に分散し、概要の説明、申請書の記載方法、作物ごとの計算方法や、収入保険の相談受付などを行いました。今回、管内の対象者としては、カリフラワーの生産者が半数を占めました。（▶写真は7月16日、北部営農経済センターでの説明会の様子）



夏野菜を揚げ焼きで!!

美味しい
を
ご紹介

とくしま 野菜食べつくしカレー



ハウス食品株式会社が、県、JA全農とくしまと共同でパーモントカレーのテレビCMでもおなじみの「とくしま野菜食べつくしカレー」のキャンペーンを8月末まで展開しています。野菜をたっぷり摂ることができるカレーを通じ、地産地消の推進と徳島県産食材の消費拡大を図るための活動です。

今回、徳島の野菜、枝豆、しいたけ、レンコン、トマト、すだちを使用したカレーのレシピを紹介し、テレビCMや県内スーパーの店頭でもPR活動を行っています。

レシピでは、夏場の調理時間の短縮のために火が通りやすいひき肉を使用し、栄養価が高く、色とりどりの夏野菜を揚げ焼きにしています。お好みで、すだち果汁をカレーにかけ、爽やかな香りと風味が楽しめます。

詳しいレシピを公開していますので、QRコードにてアクセスください。



レシピはこちらから
チェック▶



新連載

～営農指導兼経済渉外員の活動をご紹介

第1回：北部営農経済センター

細川 稔平 営農指導兼経済渉外員

「まず先に地域の方のお役に立ちたい」



北部営農経済センターの細川営農指導兼経済渉外員（以下・細川渉外員）は7月末、肥料の推進のため北井上支所の黒田耕司さんを訪問しました。トレードマークのリュックサックを背負い、黒田さんと枝豆の生育状況、またオリンピックなどの話題で和気あいあいとした雰囲気でお話をしていました。昨年度までは北井上支所 金融共済課に所属し、渉外員として活動していましたが、今年4月より営農指導兼経済渉外員としての任務が始まりました。今後の課題は“情報収集”。組合員の方々によりよい情報が届けられるように、支所にいる時間は電子図書を読む、また、北部営農経済センターがチームとなり、月数回のミーティングにより、情報共有をしたものをインプットするそうです。

黙っていることのほうが苦手だという、細川渉外員。物腰が柔らかく、組合員の方々からも好評を得ています。

モットーを訊ねると「何よりも、組合員の方々の役に立ちたい。」と即答。組合員の方から「農業が効いたよ。」と教えてもらい、自分の伝えた情報を活用いただいた結果を知ること、お役に立てたことにやり甲斐を感じるそうです。

牛肉の赤身が大好物で、美味しい肉の生産に携わりたいと思い、北海道の大学で、畜産と農業経済学を専攻。学生時代に北海道のJAで研修や短期のアルバイトを経験し、JAの活動は幅が広く、人との繋がりが何より大切ということに触れたそう。現在、自身の活動において「名前より、顔を覚えてほしい。何度も訪問し、覚えてもらい、顔を見て安心してもらえる存在になりたい。些細なことでも、できることであれば手助けがしたい。『出向く渉外活動』により、組合員の方々にとっての『見守り隊』のような存在になりたい。今後、さらに活動の幅を広げ、組合員の方々の農業所得向上に繋がるように努めたい。」と熱意を話しました。



燃料サービスからこんにちは!



燃料サービス 南井上SSの北村、
応神SSの冨永です。
今月は燃料サービスからお届けします。

LINE アカウントができました!!

LINEお友達登録
キャンペーン



キャンペーン期間
令和3年9月1日～
令和3年9月15日

登録後、SSスタッフにお声掛けいただき、スマートフォンをご提示いただきますと、洗車カードをお渡しします。

◀こちらのQRコードをスマートフォンで読み取っていただくと、お友達登録ができます。



他にも、定期的にキャンペーンの告知や、お得な情報を発信していきますので、この機会に是非ご登録ください。



皆様、いつも給油所をご利用いただきましてありがとうございます。燃料サービスでは、現金カード会員様を対象に毎週金曜日はポイント5倍サービスを実施しています。ポイント特典として、お米、トイレトペーパーなど、様々な商品をご用意させていただいております。ちなみに、商品の中で最も人気なのは、今年4月から交換が始まった、マックカード（500円分）です。また、燃料サービスでは、サービス向上を目指し、昨年11月に給油所をご利用くださったお客様を対象にアンケートを実施しました。アンケートの結果や、お客様の声をもとに様々なサービスの展開を計画しておりますので、今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



▲他にもポイント数に応じて、様々な商品を取り揃えております。写真やイラストはイメージのため、実際のものとは異なる場合があります。

キャンペーン期間に、お友達登録すると、
洗車カード500円分がもらえます! ✨



※洗車カードイメージ



セルブ南井上SS

徳島市国府町開中 977-2 ☎(088) 642-8051

セルブ応神SS

徳島市応神町吉成字西吉成 110-1 ☎(088) 641-5377

みなさん、こんにちは。徳島往診クリニックの吉田です。東京オリンピックの真最中ですが、新型コロナウイルスの感染拡大が止まりません。感染力の強いインド型（デルタ型）の変異ウイルスが広がり、新規感染者は8月4日全国で初めて1万4千人を超え、過去最多を更新しました。新規感染者を年代別にみると、20代が1380人と最も多く、30代が885人、40代が658人で続いていて、重症化リスクの高い65歳以上の高齢者は131人と、若年層が多くを占める状況となっています。政府は感染拡大抑制の切り札としてワクチン接種を掲げていますが、ワクチンを2回接種した人の割合は65歳以上で78.3%に対して、国民全体では31.5%に止まっています。ワクチン接種の本来の意義は、健康な若い人も積極的に打って弱者である高齢者等を守ることですが、年代が若いほどワクチン接種をためらっている人が多いというアンケート結果が出ています。そこで、高齢の方は勿論ですが若い方も含めてコロナワクチン接種をためらわれている方にどのようにお願いすればいいか考えてみます。

デルタ株はわずか数週間のうちに最も優勢な株となり、新規感染者の大部分を占めるまでとなっています。現在のところ、デルタ株が武漢株やその他の変異株より重症化の可能性を高めているとはみられていませんが、感染力は武漢株の2倍近くに強まったとされています。これは、デルタ株が変異によってヒトの免疫系から逃れる能力を高めたことと感染者の鼻や喉にウイルスの量が大幅に多いことにより、他の人にさらにうつしやすくなったためだとされています。さらに、デルタ株は感染後の潜伏期間が他の株に比べて短いと考えられており、そのため感染した可能性がある人を追跡して特定することがより困難になったとされています。

デルタ株感染者の大部分はワクチン未接種の人たちですが、2回の接種を完了した後に感染する「ブレイクスルー感染」もわずかながら発生しています。だからといってワクチンに問題があるとは考えられておらず、米国ではこれまでに、1億6380万人以上がワクチン接種を完了していますが、そのうちブレイクスルー感染して入院した人は死亡した人を含めて6000人未満と少なく、重症化するのも高齢者や免疫不全の人が大半とみられ、75%が65歳以上となっています。以上からワクチン接種を完了後にデルタ株に再感染して重症化する確率は、今のところ非常に低いと考えられます。

そこで、ワクチン接種を勧める理由として以下の項目をお示しします。

- ①そもそも発症・重症化を抑えることができる。変異株（イギリス株・インド株）に対する発症予防はファイザー社・モデルナ社で一定の効果（約90%）がある。特に、昨今ではCOVID-19が大流行しているにも関わらず高齢者の発症割合が全体の2%程度しかないため、ワクチンは一定の効果があると言えるだろう。
 - ②副反応（発熱・悪寒・倦怠感など）は時につらいことがあるかもしれないが、COVID-19に罹った方がよりつらくなる。基本的にはアセトアミノフェンなどの解熱薬を内服しておけば1～2日我慢して回復する。ワクチン接種1回目よりも2回目の症状がつかなくなることもあるため、その点には注意が必要だろう。
 - ③感染から回復したとしても後遺症に悩まされる可能性がある。感染に関する症状が治まっても倦怠感・味覚障害・嗅覚障害・脱毛・呼吸困難・感染後肺線維症が残存しQOLが低下する恐れがある。
- 勿論、接種を強制することはできませんが、世の中に流布している怪しい情報に惑わされることなく、正しい情報を厚生労働省のホームページで確認して頂きたいと思います。

農業婚活

田畑もご縁も実らせ隊 ～農業委員が縁結び～

徳島市農業後継者パートナー事業推進協議会（JA徳島市・徳島市農業委員会）では、農業の担い手不足を改善するため、農業者の婚活支援に取り組んでいます。このたび、1対1の出会いの場を提供する、登録型お見合い事業を行います。真剣に結婚を考えているあなた、まずは登録から始めてみませんか？

登録

登録に必要なもの

- ① マッチングシート（登録用・公開用）
- ② 誓約書
- ③ 写真（顔写真・全身写真）※スナップ写真可
- ※①②は徳島市内JA各支所、農業委員会事務局にあります。市ホームページからダウンロードもできます。



受付窓口

- ① 農業委員会事務局（郵送可）
- ② 農業委員・農地利用最適化推進委員
- ※受付時に免許証等で本人確認をさせていただきます。

お相手探し

登録者に異性の方のマッチングシート（公開用）を送付。気になるお相手が見つかったら、事務局が農業委員等にお見合いの申込み。

お見合い

お相手の方もOKなら、いざお見合い。農業委員等が同席して、2人の出会いをサポートします。

※登録料・年会費は不要です。

（ただし、お見合いの際には、お茶代等の実費はご負担ください。）
※マッチングシートに記載された個人情報は、徳島市個人情報保護条例に基づき適切に管理し、目的以外の利用や第三者への提供は行いません。



登録できる方

- 20歳以上で、次のいずれかに該当する方
- ① 徳島市で農業に従事している方か、農家の跡取り
- ② ①の人と結婚し、徳島市に住んでもよいと考えている方

お問い合わせ先

徳島市農業委員会事務局 ☎088-621-5394

〒770-8571 徳島市幸町2丁目5番地（徳島市役所3階）



島田清弁護士無料法律相談

通常通り開催いたしますが新型コロナウイルスの感染状況によりましては開催できない場合がございます。

日時 第3土曜日 9:00～12:00

金融共済部へ事前に予約が必要

申込先 ☎088-622-8003

場所 本所1階金融相談室

賀上延啓税理士事務所無料税務相談

下記の通り開催予定ですが、新型コロナウイルスの感染状況によりましては、開催できない場合がございます。

日時 9月7日（火）、14日（火）、28日（火）
9:30～15:00

申込先 総務部へ事前に予約が必要

☎088-622-6335

場所 本所1階ロウンセンター

理事会だより（令和3年7月26日）

協議事項

- (1) コンプライアンス・マニュアルの一部改正について
- (2) ディスクロージャー誌の開示について
- (3) 信用事業方法書（金融機関等の業務の代理又は媒介）の一部変更について
- (4) 店舗統合に伴う店舗外ATMの廃止ならびに新規導入について
- (5) 出資口数の一部減口について
- (6) その他

報告事項

- (1) みのり監査法人による令和2年度監査結果概要報告書について
- (2) 第1四半期の余裕金運用状況報告について
- (3) 第2四半期の余裕金運用方針について
- (4) 未利用口座管理手数料制度の導入について
- (5) 債権回収について
- (6) 事務リスク管理規程に基づく事務ミス等の発生状況・自主検査の結果および改善状況について
- (7) 苦情等の受付対応実績報告について
- (8) 反社会的勢力との取引排除および疑わしい取引の届出等組織犯罪等の防止にかかわる対応状況について
- (9) 県域統合JAについて
- (10) 前回総務・営農経済委員会および金融共済委員会の協議内容について
- (11) JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
- (12) その他